



図 1 週間における活動時間の比較 (%)

は、今回の場合が120分で8%、10・11・12月の(20分)15%より少なくなっている。

1日の全生活時間から睡眠時間と不明の時間を除き、活動時間だけによって保育活動、準保育活動、個人的活動を眺めたのが図1の比較である。保育活動と準保育活動とを合わせて教育活動としてみるとき、これは70%、個人活動30%であって、公的活動対私的活動の比は7対3ということになる。

さらにこれらを全生活時間からみるとき月々金については4・5・6月は、保育約9時間半強、準保育活動1時間半、この2つを加えると11時間強になる。そして個人活動は5時間半、睡眠7時間半であるから、平日は、およそそのような状態で1日を過していることになる。しかし、月々金の余暇は2時間半であるから、これを個人活動の5時間半から除くと、14時間働き、2時間が余暇、7時間半睡眠ということになる。働く婦人としての保母は公私ともにたいへんである

(愛知学芸大学)

幼児の教育 第六十二巻 第四号

四月号 © 定価六〇円

昭和三十八年三月二十五日 印刷

昭和三十八年四月 一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレイベル館にお願いいたします。

同様である。いずれにしても今回までの結果では、1日の全生活時間の40%前後が保育、10%未満が準保育、20%前後が個人的私的活動、睡眠が30%前後といった割合になる。土曜日の保育活動は、今回の場合48分で全生活時間の30%、10・11・12月および1・2・3月の場合と大差はない。日曜日の保育活動